

保土ヶ谷東部地区社会福祉協議会広報紙

## 社会福祉協議会だより

社会福祉協議会  
シンボルマーク

No. 68

2021年(令和3年)

11月号

発行責任者：堀 功生  
(保土ヶ谷東部地区社会福祉協議会会長)

社会福祉協議会シンボルマークは、昭和47年、公募により、全国共通のマークとしてデザインが選ばれ「手を取り合って、明るいしあわせな社会を建設する姿」を表現しています

## “地域の皆様の拠点として” 横浜市岩崎地域ケアプラザ

福祉保健のことでお困りのことがあれば何でもご相談ください！

横浜市岩崎地域ケアプラザ所長 町田 貴宏

保土ヶ谷東部地区の皆様には、日頃より地域ケアプラザの業務運営にあたり、多大なご支援・ご理解を賜り、誠にありがとうございます。紙面上で大変失礼であります。厚く御礼を申し上げます。また、未曾有の災禍の中、この難局に立ち向かわれていることと存じます。

その中で、横浜市岩崎地域ケアプラザの活動を知っていただきたく文面にいたしました。

まず新型コロナウイルス感染症対策として、①入館時の体温確認 ②入館時の手指消毒 ③館内でのマスク着用 ④受付に飛沫防止シート設置 ⑤ソーシャルディスタンスの実施 ⑥定期的な換気 ⑦施設内消毒清掃 ⑧職員の体調管理の徹底(8つの安心・安全)を実施しています。



職員によるフラダンス



職員によるフラダンス

露し利用者様には楽しんでいただきました。

地域の向けの介護予防教室は感染症対策を考慮して屋外での活動を実施しています。

今後も地域の方にご不便・ご迷惑をおかけしないよう努めてまいりますので、引き続きご厚情を賜りますようお願い申し上げます。このような状況の中ではありますが、皆様のご健康と、益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

現在、新型コロナウイルス感染拡大の影響で外出や事業の自粛が必要とされ、これまでのような地域福祉保健活動やボランティア活動などを進めていくことが困難な状況におかれています。このような状況でも地域との“つながり”を継続するために、地域ケアプラザでは、従来の実施方法を工夫し、コロナ禍でも可能な取り組みを創設し、コロナに負けない地域とのつながりづくりに努めています。さらに、介護サービス事業所として、介護サービスは、要支援者・要介護者、家族などの生活を支える上で欠かせないものであり、緊急事態宣言などの制限下であっても、感染防止対策の徹底を図り継続的なサービスの提供を行っています。

ここでサービスの提供と事業活動の一部をご紹介します。

通所介護の敬老会は、本当であれば多くのボランティアさんによる演芸をご披露していただきご長寿を祝うはずでしたが叶わず、職員によるフラダンスを披



屋外での活動

わが街の**元気な**高齢者**林 夏み子 さん (88歳)**  
(月見台中部自治会)**趣味**

手芸が大好き、音楽を聴くのも好きです

**好きな食べ物**

やはり和食が一番、でも好き嫌いはありません

**元気の秘訣**

早寝早起き！こそ元気の秘訣かなと思っています

**最近の出来事**

90歳の兄を送りました

**春季グランドゴルフ大会**

(スポーツ推進委員連絡協議会)

6月26日(土) 27人が参加して桜台小学校校庭にて東部地区春季グランドゴルフ大会を行いました。

結果は1位清水治清、2位山口明子、3位には大関正子の各氏が入賞しました。

**紙ヒコーキ大会**

(青少年指導員協議会)

6月12日(土)に桜ヶ丘コミュニティハウスで15人の親子の参加で紙ヒコーキ作りを行いました。

7月11日(日)は作った紙ヒコーキを持ちより、桜台小学校体育館で紙ヒコーキの飛行時間を競う東部地区



大会を開催しました。

今年は区の大大会が中止のため地区のみの開催になりました。参加者にはお菓子を参加賞として配りました。



保土ヶ谷東部地区  
連合自治会主催

**文化事業****2021年10月16日(土)、かながわアートホールにて、文化事業が開催されました**

保土ヶ谷東部地区連合自治会主催の「文化事業」は昨年に引き続きコロナ禍で開催が危ぶまれましたが、幸いにも急激な感染者減少により緊急事態宣言が解除され、当初予定より多くの方々に参加して頂くことができました。

第一部では、日頃より「旧東海道保土ヶ谷宿を未来へつなげるまちづくり活動」などでご活躍の建築家・兼弘(かねひろ)彰さんを招き、「保土ヶ谷の歴史と歴史遺産を巡るまちあるき」と題して講演を行って頂きました。長年保土ヶ谷で暮らしていても、案外、知らない歴史遺産が多いことに驚かされました。(チコちゃんに「ぼーっと生きてるんじゃねーよ」と叱られそうです)

第二部では、月見台(中部自治会)にお住まいのソプラノオペラ歌手の渡海(わたるみ)千津子さんの豊かな歌声と、歌唱の伴奏もしていただいたピアニストの梅原圭さんのムソルグスキーの展覧会の絵の全曲演奏に心を震わせ、酔いしれる時間を過ごせました。コロナ禍で長い間演奏会などには行けませんでした。久々の生演奏鑑賞で十分楽しませて頂きました。(T.T.)

**編集後記**

柿の実があざやかに色づき落ち葉が風に舞う季節になってまいりました。

今号では、コロナ禍でも感染拡大防止に考慮して変わらず活動を続けている岩崎地域ケアプラザ、保土ヶ谷東部地区連合自治会の文化事業をご紹介します。どうぞご一読を。(K.K)

(広報部部长 大関 悦夫 広報部員：山本 正信 木村 和子 デザイン担当：東倉 俊夫)